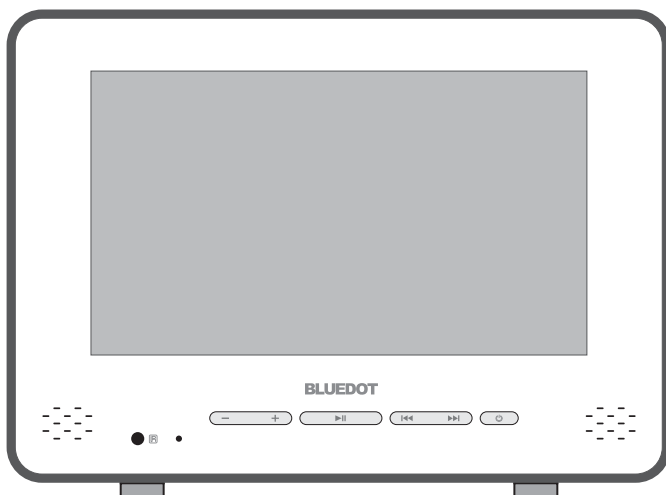


BLUEDOT®

IPX5/IPX7 防水仕様
ポータブルDVDプレーヤー
BDP-W900

取扱説明書



BLUEDOT株式会社

はじめに

弊社ポータブルDVDプレーヤーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
はじめに、この取扱説明書と保証書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後はいつでも見られるよう、大切に保管してください。

本機の特長

1. お風呂やキッチンで気軽にDVDを楽しめるIPX5/IPX7相当の防水性能

噴流水に対する保護等級であるIPX5相当および浸水に対する保護等級であるIPX7相当の防水性能を備えていますので、浴室やキッチンなど水しぶきのかかる場所でもDVDをお楽しみいただくことができます。同梱のリモコンもIPX5/IPX7相当の防水仕様です。

※ 取り扱い方法を誤ると故障します。9ページの「本機の防水性能について」および本取扱説明書にて取り扱い方法および注意事項をよくお読みいただき、正しくお使いください。

2. ゆとりの3時間バッテリーを内蔵

連続再生3時間の充電式バッテリーを内蔵しています。浴室やキッチンで映画や録画したテレビ番組を楽しんでいただくのには十分な長さです。お部屋やお庭などでポータブルDVDとしてもご利用いただけます。

※ 明るさ標準、スピーカー使用時の参考値です。使用環境やバッテリーの状態などにより変動する場合があります。

※ 持ち運ばれる場合は、本機に衝撃や圧力を加えたり、高温・低温下に放置したりしないようご注意ください。変形・破損・劣化などにより故障したり、防水性能に影響が出たりする恐れがあります。

3. CPRM対応ディスクの再生に対応

デジタル放送を録画したCPRM対応ディスクの再生に対応。レコーダーで録りためたお気に入りのテレビ番組を、入浴中やお料理の待ち時間などを使ってお楽しみいただくことができます。

リモコンにはCMスキップに便利な27秒送りボタンを搭載しています。

※ CPRMディスクの再生時は、読み込みにかかる時間や動作音が大きくなることがありますが、故障ではありません。

※ ディスクの作成環境や記録状態などによっては再生できない場合があります。

4. スタンバイボタンとレジューム機能で、いつでも続きから再生

本体前面にスタンバイボタンを搭載。キッチンでちょっと視聴を中断したい場合や、浴室から出るときなど、主電源をオフにしたくても端子カバーを開けられないような状況でご利用いただくと便利です。本に『しおり』をはさむように、今まで観ていたシーンを覚えてくれるレジューム機能も搭載。スタンバイや主電源オフにすれば最後の位置を記憶するので、再び電源をオンにしたときに、前回の続きから映像をお楽しみいただくことができます。本機では、DVDビデオやVRモードで記録されたDVD（CPRM対応ディスクを含む）に加え、音楽CDやMP3ファイルのレジュームにも対応しています。

※ レジューム機能で記憶できる再生位置はDVD、CD、MP3ファイルでそれぞれ一箇所です。

5. SDHCメモリーカードの再生に対応

最大32GBまでのSDHCメモリーカードに記録されたMP3ファイルやJPEGファイルなどを再生することができます。入浴中に音楽を楽しんだり、デジタルカメラの写真を流したりして、ゆったりとくつろぐことができます。

※ メモリーカードの製造メーカーや記録の状態などによっては再生できない場合があります。

もくじ

はじめに	2	スキップ(飛び越し)	18
本機の特長	2	27 秒送り(CM スキップ)	18
もくじ	3	レジャー機能	18
安全にお使いいただくために	4	リピート再生(繰り返し)	19
お使いになる前に	7	シャッフル再生	19
用語の説明	7	AB リピート再生	19
本機で再生できるメディア	8	再生情報を表示する	20
本機で再生できるリージョンコード (地域番号)	8	消音(ミュート)にする	20
本機の防水性能について	9	スタンバイにする	20
故障を防ぐために大切な注意点	9	MP3/JPEG ファイルを再生する	21
水の浸入を防ぐ大切な操作	10	準備	21
スピーカー使用上の注意点	10	メニュー画面から選んで再生する	22
各部の名前	11	いろいろな再生	22
本体	11	JPEG ファイルのいろいろな再生	23
リモコン	12	初期設定を変更する	24
電源の準備	13	設定内容の説明	24
電源の接続	13	各種設定を行う	28
内蔵バッテリーを充電する	14	パスワードを変更する	28
リモコンの準備	15	液晶画面を調節する	29
基本的な使いかた	16	外部機器と接続するとき	30
いろいろな再生をする	17	テレビに接続する	30
DVD のメニュー再生	17	テレビとオーディオアンプ、または AV アンプ に接続する	30
字幕(サブタイトル)を切り換える	17	外部の映像を本機で再生する	31
音声(オーディオ)を切り換える	17	故障かな?と思ったら	32
サーチ(早送り/早戻し)	18	技術仕様	34

付属品

本機には、下記の付属品が同梱されています。
梱包を開けて、すべての付属品があるか点検してください。

・BDP-W900 専用オーディオ・ビデオコード	1	・取扱説明書	1
・リモコン(防水仕様、IPX5/IPX7 相当)	1	・保証書	1
・AC アダプター	1		

※ リモコンは水の中で操作しないでください。故障の原因になります。

安全にお使いいただくために

ご使用前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。
製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

絵表示の例	 警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	 注意 人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。
	 記号は、禁止される行為を表しています。
	 記号は、行わなければならないことを表しています。

警告



禁止

水のかかる恐れのある場所でACアダプターを使用しない。

浴室や洗面台、キッチンなどの水まわりで使用すると感電の原因となります。



ACアダプターなどは必ず付属品を使う。

指定以外のものを使用すると、火災や破損の原因となります。



禁止

濡れた手でACアダプターを抜き差ししない。

感電の原因となります。



禁止

付属のACアダプターはAC100～240V、50/60Hz以外の電源で使用しない。

指定以外の電圧で使用すると、火災や感電、破損の原因となります。

また、海外での使用で故障した場合は、保証対象外となります。



プラグを
抜く

異常な状態が見つかったら

煙が出たり、変なにおいや音がするなどの異常が見つかった場合は、すぐに本体の主電源をオフにし、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。その後、弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。



禁止

内蔵バッテリーは火中投入、加熱したり、高温下で放置、充電、使用しない。

液漏れ、発熱、発火、破裂の原因となります。



内部に水が入ったら

主電源をオフにし、ACアダプターをコンセントから抜いてください。その後、弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。目に見える水滴が乾燥しても内部に水分が残っている可能性がありますので、再び使用することはおやめください。



内蔵バッテリーは指定の方法で充電する。

間違った方法で充電すると、液漏れ、発熱、発火、破裂の原因となります。



分解禁止

分解や改造はしない。

内部の部品に直接触れると、火災や感電、けがの原因となります。

また、弊社で責任を負うことができません。保証対象外となります。

警告



禁止

内部に異物や水などを入れない。

本体やACアダプターなどの内部に、金属類や燃えやすいものを入れたり、液体をこぼしたりしないでください。

火災や感電、破損の原因となります。



禁止

落下した機器は使わない。

落として強い衝撃を与えたりして本体が破損した場合は、まず本体の主電源をオフにし、ACアダプターをコンセントから抜いてください。その後、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードは正しく抜き差しする。

- ・電源プラグを持って抜き差しし、コードは引っ張らない。
 - ・電源プラグは根元まで確実に差し込む。
 - ・ほこりや汚れを付けたまま使用しない。
- 火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- ・加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしない。
 - ・上に重いものを載せない。
 - ・スチールなどでとめない。
 - ・熱器具に近付けたり、加熱したりしない。
- コードが破損すると、火災や感電の原因となります。



禁止

レーザー光線は絶対にのぞかない。

ディスクの読み取りには、レーザー光線を使用しています。本体ケースを開けたり、本書の記載によらない操作を行って、レーザー光線を直接のぞかないでください。視力障害の原因になる場合があります。



禁止

乳幼児の手の届かない場所に置く。

本体の開閉時に指を挟んでけがをしたり、ボタン電池、メモリーカードなどの部品を飲み込んで窒息したり中毒になる恐れがあります。

万一何かを飲み込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。



禁止

ひざの上で長時間使用しない。

本体の一部が温くなり、長時間触れていると低温やけどの原因となります。



禁止

布や布団で覆わない。

本体やACアダプターなどを、布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。

熱がこもると、ケースの変形や火災の原因となります。



雷が鳴り始めたら

本体やACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。



禁止

運転中や歩行中は絶対に使用しない。

車や自転車、オートバイなどを運転しながら、または歩行しながらの視聴は、絶対におやめください。

また運転中、運転手以外の方が視聴する場合は、運転の妨げとならないよう、音量などに注意してください。

重大な交通事故の原因となります。

データの破損について

お客様の取り扱いや、静電気、電氣的ノイズ、衝撃、または機器の故障により、ディスクやデータが破損した場合の損害については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

⚠ 注意



禁止

濡れた手で、または水まわりや湿度の高い場所でディスプレイや端子カバーを開閉しない。

本機内部に水分が侵入して故障の原因となります。



禁止

次のような場所には放置しない。

- ・ ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所。
- ・ 風呂場など、湿気やほこりの多い場所。
- ・ 加湿器のそばなど、煙や湯気が出る場所。
- ・ 窓を閉めきった車の中、ダッシュボードの上や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所。
- ・ 蛇口や花瓶、コップのそばなど、水がかかりやすい場所。

本体が落下して破損したり、熱や水滴による破損や火災、感電の原因となります。



プラグを
抜く

長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜く。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のためにACアダプターをコンセントから抜いてください。



プラグを
抜く

お手入れのときは電源プラグを抜く。

感電や破損の原因となります。



移動するときは全ての接続を外す。

ACアダプターやオーディオ・ビデオコードなどを外してから移動してください。コードが破損すると、火災や感電の原因となります。



禁止

機器の上に重いものを載せない。

機器の上に重いものを載せないでください。また、機器の上に座らないでください。破損やけがの原因となります。



ボタン電池は指定のものを使用する。

リモコンの電池は必ず「CR2025」を使用してください。また、+極と-極の向きに注意して、正しく交換してください。火災や破損、液漏れの原因となります。



禁止

ディスクは回転が完全に止まってから取り外す。

けがの原因となります。

また、ディスクが傷つく恐れがあります。



禁止

破損または変形したディスクは使用しない。

本体を傷つけたり、本体内部に破片が飛び散ったりする恐れがあります。また、ディスクをさらに傷つける恐れがあります。



音量は徐々に大きくする。

電源をオフにする前や外部機器と接続する前、ヘッドホンを抜き差しする前には、あらかじめ音量を小さくしてください。突然大きな音が出ると、聴力障害の原因となります。



禁止

大音量で長時間続けて聞かない。

耳を刺激するような大音量で長時間続けて音を聞くと、聴力障害の原因となります。

ヘッドホンを使用するときは特に注意してください。



禁止

映像を長時間続けて見ない。

映像を長時間続けて見ると、視力障害の原因となります。また、目だけでなく体の一部に疲労感や痛みが出る恐れがあります。

そのときは使用を中断して、しばらく休息をとってください。

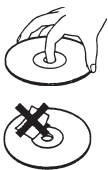
万一休息しても回復しない場合は、すぐに医師に相談してください。

お使いになる前に

ディスク使用上の注意

ディスクの取り扱い方

- ・ディスクを汚さないように、再生面には触れないでください。
- ・ディスクに紙やテープを貼らないでください。
- ・ディスクに直射日光や熱源を当てないでください。
- ・再生後はディスクケースに保管してください。



ディスクの掃除

再生前に、柔らかくて清潔な布でディスクの中心から放射状に拭いてください。



結露(露つき)について

本機を寒い場所から温かい場所へ急に移動したり、湿気の多い場所に置いたりすると、湿気がピックアップレンズなどに結露し、故障や再生不良の原因となります。

その場合は、本機の主電源をオフにして放置し、結露を蒸発させてからご使用ください。

ディスクの絵表示について

この説明書では、下のようなマークで使用できる機能を表しています。

マーク	表示
	DVDの機能
	CDの機能

用語の説明

タイトル

DVDでは、映画本編と特典映像のように、異なる複数の内容が記録されていることがあります。

このような大きな区分けをタイトルといいます。

チャプター

各タイトルでは、一定の時間やシーンなどによって、さらに小さく内容を分けていることがあります。

このような小さな区分けをチャプターといいます。

トラック

CDに記録されている各曲のことを、便宜上、トラックということがあります。

CDDA

音楽CDのことを、他のデータCDなどと区別するためにCDDAということがあります。

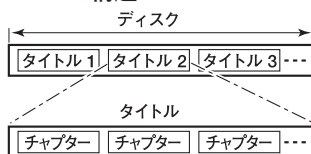
MP3

音声圧縮方式の一つで、高音質のまま音楽データのファイルサイズを小さくすることができます。

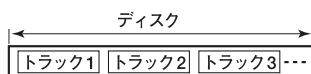
JPEG

静止画圧縮方式の一つで、デジタルカメラの写真やインターネット用の画像として、広く使われています。

DVDの構造

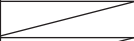


CDの構造



本機で再生できるメディア

下の表のメディアが再生できます。

種類	メディア	ロゴ	内容	サイズ
DVDビデオ	DVD		動画	12cm
				8cm
DVD-VR (VRモード)	DVD		動画	12cm
				8cm
CDDA	オーディオCD		音楽	12cm
				8cm
MP3	データDVD/データCD/メモリーカード		音楽	
JPEG	データDVD/データCD/メモリーカード		画像	

- ◆ 本機では、DVD-R/RW、DVD+R/RW、CD-R/RW、SDHC/SDメモリーカードを再生をすることができます。

次のメディアは本機では再生できません

- ※ ブルーレイ、HD DVD、DVD オーディオ、SACD、DVD-RAMなどのディスクには対応していません。
- ※ AVCHD方式やAVCREC方式、HD Rec方式で記録されたディスクには対応していません。
- ※ レコーダーで録画したDVDで、ファイナライズされていないディスクには対応していません。
- ※ パケットライト方式で記録されたデータディスクには対応していません。
- ※ microSD/miniSDメモリーカードをお使いいただくときは、市販の変換アダプターが別途必要です。
- ※ コピーコントロールCDなどの特殊なディスクは再生できない場合があります。
- ※ メディアの記録状態やフォーマット、製造メーカーなどによっては再生できない場合があります。

本機で再生できるリージョンコード(地域番号)

DVDビデオ及びDVD再生機器には、地域ごとに割り当てられたリージョンコードが記録されています。

市販のDVDビデオは、DVD再生機器のリージョンコードと一致していないと再生できません。

日本国内のリージョンコードは“2”です。

本機のリージョンコードも“2”に設定されており、DVDのケースなどに右のマークのあるディスクが再生できます。



- ※ リージョン“ALL”はリージョン“0”と表現されていることがあります。

本機の防水性能について(必ずお読みください)



本機はJIS C 0920のIPX5/IPX7相当の防水性能を有しています。

- ◆ JIS C 0920は「電気機械器具の外郭による保護等級」を定めた規定です。
 - ◆ IPX5は「あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても有害な影響を及ぼしてはならない」ことを示しており、具体的には本機から2.5～3m離れた位置から直径12.5mmのノズルを使って毎分12.5リットルの常温水をあらゆる方向に約3分間当てても本機に有害な影響が出ない性能を表しています。
 - ◆ IPX7は「規定の圧力及び時間で外郭を一時的に水中に沈めたとき、有害な影響を生じる量の水の浸入があつてはならない」ことを示しており、具体的には本機を常温水中、約1mに約3分間沈めても本機に有害な影響が出ない性能を表しています。
- 常温水での規定であり、温水で同等性能を有することを保証するものではありません。
- 入浴剤やシャンプー、リンス、せっけん、洗浄剤などを含む水、温泉水、海水など、真水や水道水以外の液体には対応していません。

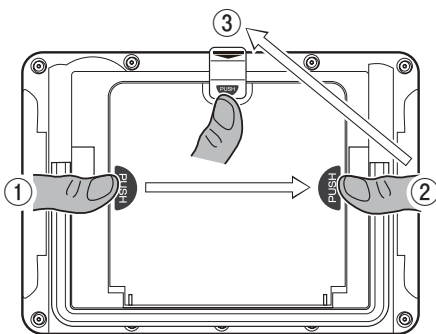
故障を防ぐために大切な注意点

- ◆ 浴室や洗面所、キッチンなどの水まわりや湿度の高い場所ではディスプレイや端子カバーを決して開けない。本機や手が濡れた状態でディスプレイや端子カバーを決して開けない。
 - ・充電などACアダプターを使用しない。
 - ・ディスクやメモリーカードなどを交換しない。
 - ・AV入出力を利用しない。
 - ・ヘッドホンを使わない。
 - ・主電源のオン・オフを行わない。
- ◆ 浴室など湿度の高い場所に本機を放置せず、外に出す。
- ◆ 故意に水に浸したり、沈めたり、浮かべたり、水をかけたりしない。
- ◆ 入浴剤やシャンプー、リンス、石けん、洗浄剤など含む水、温泉水、海水など非対応の液体をかけない。
- ◆ 許容動作温度を超える高温下、低温下で使用したり、放置したりしない。また温度差の大きい場所に移動して使わない。
- ◆ サウナで使用しない。
- ◆ ゴムパッキンの上に髪の毛、ほこりなどの異物が付着していないか注意し、見つけたら丁寧に取り除く。
- ◆ ゴムパッキンがはずれていたり、破損しているなど異常を見つけたら、使用せず弊社サポートセンターに連絡する。
- ◆ 安定した場所に置いて、落下などの強い衝撃や強い圧力がかからないようにする。
- ◆ 本機が濡れた場合、乾いたやわらかい布などで水分を丁寧にふき取る。
- ◆ 内部に水が入ったまたはその恐れがある場合、仮に動作していてもすぐに主電源をオフにし、ディスクやメモリーカードを取り出し、弊社サポートセンターに連絡する。



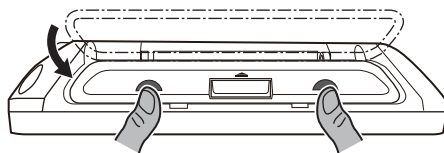
- ・ ゴムパッキンは劣化します。2年程度を目安に交換されることをおすすめします。交換はおお客様ご自身ではできません。弊社サポートセンターにご相談ください。
- ・ 本マニュアルに記載された取り扱い方法および注意事項に添わない使い方や誤った使い方によって故障した場合、保証期間内でも保証対象外となります。

水の浸入を防ぐ大切な操作(ディスプレイ/端子カバーの正しい閉じ方)



ディスプレイ(背面)

PUSHと書かれた  マーク(3ヶ所)に①、②、③の順で指の腹を押し当ててカチッと音がするまで押し込みます。



端子カバー(左右側面)

 マーク(2ヶ所)に指の腹を同時に押し当ててカチッと音がするまで押し込みます。

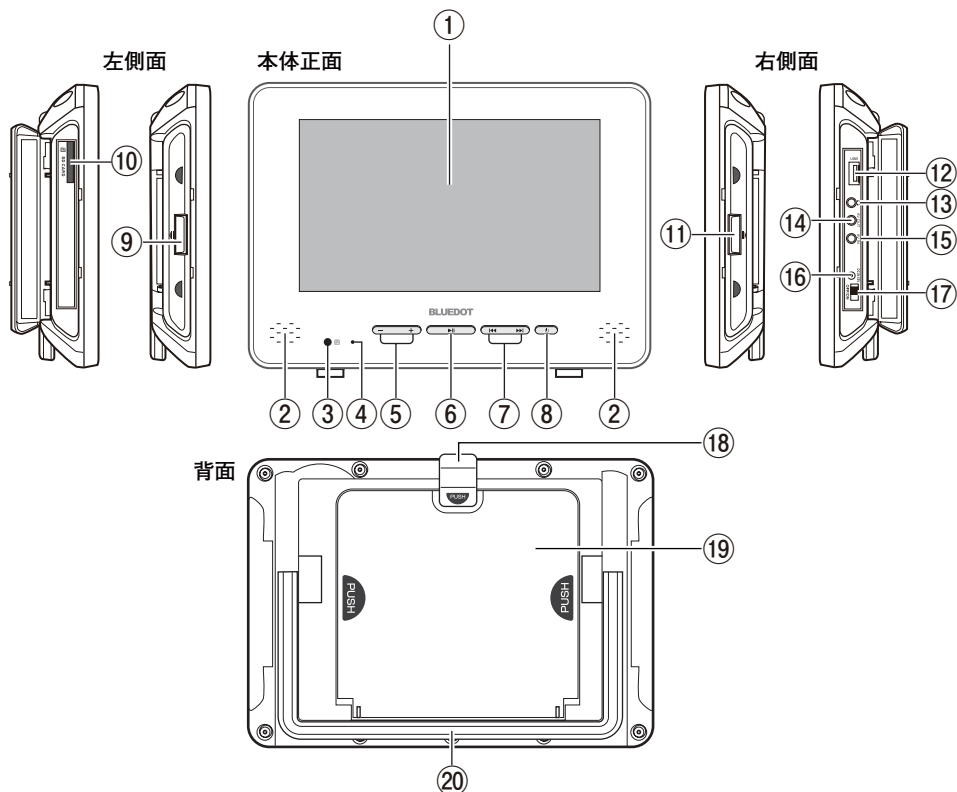
- ◆ 押し込む順番が異なると、正しく閉じることができない可能性があります。
- ◆ 念のためもう一度  マークを押してきっちり閉じられているかご確認ください。
- ◆  マークの方向にレバーを引くとディスプレイ/端子カバーが開きます。

スピーカー使用上の注意点

スピーカーに水滴が付着すると音が小さくなったり、音がこもったりする場合があります。乾いたやわらかい布で水分を丁寧にふき取ってください。

各部の名前

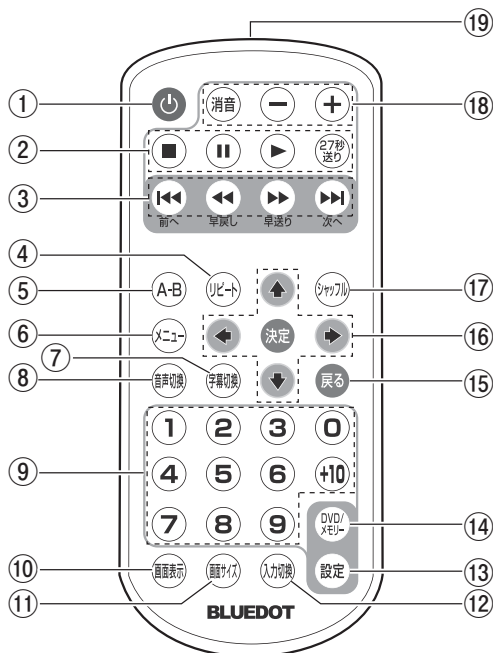
本体



- | | |
|--------------------------------|--|
| ① 液晶画面表示部 | ⑫ USB 端子 |
| ② スピーカー | ⑬ (ヘッドホン端子)
ヘッドホンを接続すると本機のスピーカーから音がでなくなります。 |
| ③ リモコン受光部 | ⑭ AV OUT (AV 出力) 端子 |
| ④ 電源 / 充電状態ランプ | ⑮ AV IN (AV 入力) 端子 |
| ⑤ 音量 - / + ボタン | ⑯ DC IN 12 V (電源入力) 端子 |
| ⑥ ► (再生 / 一時停止) ボタン | ⑰ 主電源スイッチ |
| ⑦ ◀◀ / ▶▶ (前スキップ / 後スキップ)* ボタン | ⑱ ディスクトレイ |
| ⑧ ⏻ (スタンバイ) ボタン | ⑳ ハンドル兼用スタンド |
| ⑨ 端子カバー (左側面) 開閉レバー | |
| ⑩ メモリーカードスロット | |
| ⑪ 端子カバー (右側面) 開閉レバー | |

※ 短く押すとスキップ(飛び越し)、1 秒以上長く押すとサーチ(早戻し / 早送り)として機能します。

リモコン



① (スタンバイ)ボタン

② (停止)ボタン
 (一時停止)ボタン
 (再生)ボタン
 27秒送りボタン

③ (前スキップ)ボタン
 (早戻し)ボタン
 (早送り)ボタン
 (後スキップ)ボタン

④ リピートボタン

⑤ A-B リピートボタン

⑥ メニューボタン

⑦ 字幕切換ボタン

⑧ 音声切換ボタン

⑨ 数字ボタン

⑩ 画面表示ボタン

⑪ 画面サイズボタン

⑫ 入力切換ボタン

⑬ 設定ボタン

⑭ DVD/ メモリーボタン

⑮ 戻るボタン

⑯ 上/下/左/右方向ボタン
 決定ボタン

⑰ シャッフルボタン

⑱ 消音ボタン
 音量-/+ボタン

⑲ 送信部

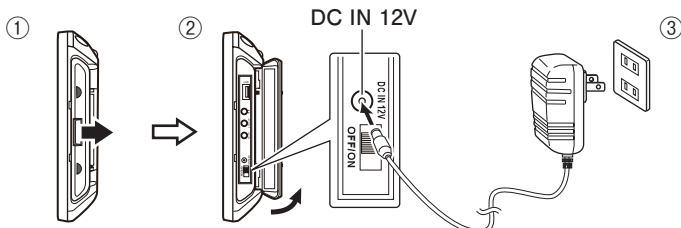
電源の準備

電源の接続

ACアダプターを使用する(充電する/お部屋で使用する)



- ・ACアダプターを使用すると右側面の端子カバーは閉まらなくなります。浴室、洗面所、キッチンなどの水まわりや湿気の多い場所で決して使用しないでください。
- ・濡れた手で側面の端子カバーを開閉したり、ACアダプターに触れたりしないでください。
- ・本機に水滴が付いている場合は柔らかい布で水分をしっかりとふき取ってください。



右側面の端子カバーのレバーを引く。

カバーを開く。

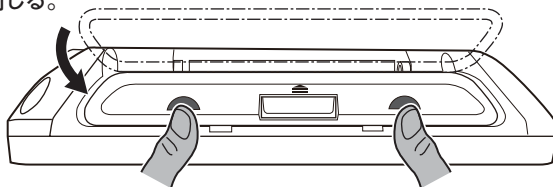
ACアダプターを本機の電源入力端子およびコンセントに接続する。



- ACアダプターは防水仕様ではありません。
- 付属のACアダプターは交流100V～240Vに対応しています。(保証対象は国内での交流100V使用のみとなります。)
- ACアダプター取り付け、取り外す前に、必ず本機の主電源をオフにしてください。

ACアダプターを使用した後は端子カバーを閉じる

① カバーを閉じる。



②  マークの上に指の腹を同時に押し当ててカチッと音がするまでしっかり閉じる。



- 端子カバーが正常に閉められていないと水分が本機内部に入り込み、故障の原因となります。
- 端子カバーや内部のゴムパッキンが破損または劣化した場合、使用せずに弊社サポートセンターにご相談ください。

内蔵バッテリーを充電する

1. 13 ページの手順にしたがって AC アダプターを本機に接続する。



2. 充電を示す赤色ランプが点灯する。



3. 充電完了後、赤色ランプが消灯する。

- ◆ 充電中 / 充電完了後のランプの色は本機の電源状態によって異なります。

電源状態	満充電 / 放電中	充電中
電源オン	緑	緑＋赤
スタンバイ	橙	橙＋赤
主電源オフ	消灯	赤

- ◆ 約5時間でフル充電になります。

4. AC アダプターを取り外し、13 ページの手順にしたがって端子カバーを閉じる。

- ◆ 工場出荷時、内蔵バッテリーは充電されていません。
- ◆ 充電回数の目安は約500回です。



注意 充電回数は目安であり外部環境や内蔵バッテリーの状態などによって変わります。

① 本機の電源状態について

本機には次の3つの電源状態があります。

① 電源オン

通常の動作モードです。DVDやメモリーカードなどを再生できます。

電源ランプは緑色に点灯します。

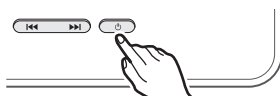
- ◆ 充電中は緑と赤の混合色になります。

② スタンバイ（待機状態）

液晶画面右下のスタンバイボタンを押すとスタンバイモードに入ります。

浴室やキッチンなどで一時的に電源をオフにしたい場合に便利です。

電源ランプは橙色に点灯します。

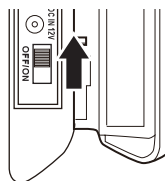


- ◆ 充電中は橙と赤の混合色になります。
- ◆ 待機中も若干の電力を消費しているためバッテリー残量が減少します。数時間以上ご使用にならないときは主電源をオフにすることをおすすめします。

③ 主電源オフ

右側面端子カバー内の主電源スイッチでオフにできます。リモコン操作は受け付けなくなります。

電源ランプは消灯します。



- ◆ 充電中は赤色に点灯します。

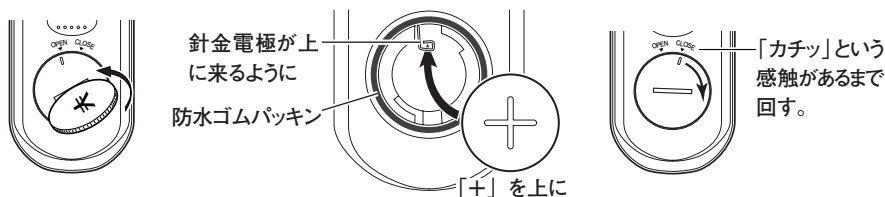
リモコンの準備

電池を交換する

工場出荷時にはすでに電池がセットされていますが、放電しないようにプラスチック製の透明保護シートがはさまれています。ご使用前にリモコンの裏蓋を開け、保護シートを丁寧に取り除いてください。

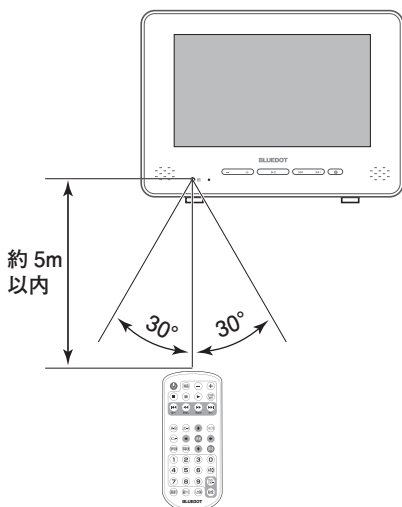
また、電池を交換するときは、次の手順で交換してください。

1. コインを使って裏蓋を左へ回し、裏蓋を取り外す。
2. 針金電極がボタン電池の「+」の上に来るようにボタン電池を針金電極の下にもぐり込ませる。
3. 防水ゴムパッキンが溝にはめ込まれていることを確認して裏蓋をかぶせ、コインを使って裏蓋を押し込みつつ右へ回す。



- ◆ 電池を交換するときは「リチウム電池 CR2025」をご使用ください。
- ◆ リモコンの防水性能は本体と同じIPX5/IPX7 相当です。水の中で操作しないでください。故障の原因となります。

リモコンの操作範囲



- ◆ リモコンは本体のリモコン受光部に向けて、図の範囲で操作してください。
- ◆ ボタンを押しても動作しにくくなった場合は、新しい電池と交換してください。
- ◆ リモコンを長期間使用しない場合は、電池を取り外しておいてください。

注意 リモコン受光部に直射日光が当たったり、インバーター式の蛍光灯の近くで使用すると誤動作をすることがあります。この場合は位置を変えてください。

基本的な使いかた



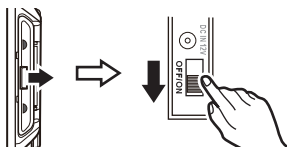
この操作は浴室や洗面所、キッチンなどの水まわりや湿気の多い場所で決して行わないでください。

再生の準備をする

1. 電源の準備をする。

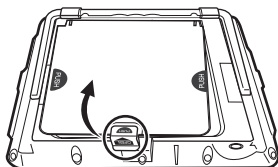
13～14 ページを参照して電源の準備をします。

2. 右側面の端子カバーを開けて主電源スイッチをオンにする。



電源がオンになります。

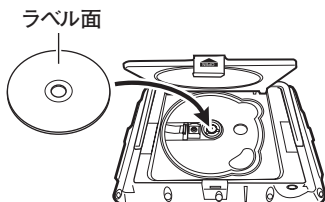
3. ディスクトレイレバーを引いてディスクトレイを開ける。



入浴中のディスク交換は絶対におやめください。

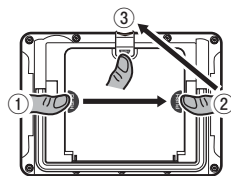
4. ディスクをセットする。

ディスクのラベル面を上にして、中心軸にカチッと固定されるようにセットします。



5. ディスクトレイを閉める。

PUSHと書かれた  マーク(3ヶ所)に①、②、③の順で指の腹を押し当ててカチッと音がするまで押し込みます。

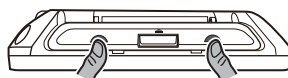


◆ うまくはめ込めない場合は無理に押し込まず、一度トレイを開いてからもう一度お試しください。

◆ ディスクの再生が始まりますので必要に応じて停止、一時停止またはスタンバイ状態にしてください。

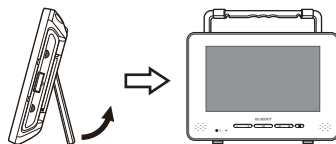
6. 両側面の端子カバーを閉じる。

 マーク(2ヶ所)に指の腹を同時に押し当ててカチッと音がするまで押し込みます。



7. 浴室やキッチンなどに移動して再生を始める。

◆ スタンドはハンドルとして利用できます。



◆ 壁掛けで使用しないでください。

いろいろな再生をする

ここではリモコン操作を中心に記載してあります。
同じ名前のボタンは本体でも同じ操作ができます。

再生を始める

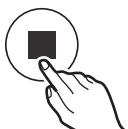
再生(▶)ボタンを押す。



- ◆ DVDによってはメニュー画面が表示される場合があります。方向ボタンや決定ボタンでメニューの内容を選んでください。

停止する

停止(■)ボタンを押す。



- ◆ 停止後に再生(▶)ボタンを押すと、停止した位置から通常再生を開始します。
- ◆ 完全に停止する場合は停止(■)ボタンを2回押します。

一時停止する

再生中に一時停止(⏸)ボタンを押す。



- ◆ 一時停止中に一時停止(⏸)ボタンを押すと、押すごとにコマ送り再生します。

操作禁止マークについて

DVDでは、制作者の意図により、シーンによって操作が禁止されていることがあります。
その場合は右図のマークが表示されます。



DVDのメニュー再生

ディスクにメニュー画面が記録されているときは、次のようにして表示することができます。

1. メニューボタンを押す。



- ◆ メニュー画面が記録されているときでも、一定のシーンで操作が禁止されている場合があります。

2. 方向(▲/▼/◀/▶)ボタンや決定ボタンでメニューの内容を選ぶ。

- ◆ 操作方法はディスクによって異なります。
詳しくはディスクケースなどをご参照ください。

字幕(サブタイトル)を切り換える

ディスクに複数の字幕が記録されているときは、リモコンボタンで切り換えることができます。

字幕切換ボタンを押す。

押すごとに、字幕が切り換わります。



3種類の字幕が選択できることを示します。

字幕 01/03 日本語

- ◆ 字幕を表示させたくないときは、字幕ボタンを繰り返し押し続けてオフにします。
- ◆ 字幕が記録されていないディスクでは、字幕を切り換えることはできません。

音声(オーディオ)を切り換える

ディスクに複数の音声記録されているときは、リモコンボタンで切り換えることができます。

音声切換ボタンを押す。

押すごとに、音声切り換わります。



4種類の音声を選択できることを示します。

音声 1/4 AC3 5.1ch 英語

- ◆ 音声1つしか記録されていないディスクでは、音声を切り換えることはできません。

サーチ(早送り/早戻し)

ディスクを高速再生して希望の場所を探すことができます。

サーチ(◀◀/▶▶)ボタンを押す。

押すごとに、5段階で再生速度が変わります。



- ◆ サーチ中に再生(▶)ボタンを押すと通常再生に戻ります。
- ◆ 本体のスキップ(◀◀ / ▶▶)ボタンを1秒以上長く押すと、サーチボタンとして機能します。

スキップ(飛び越し)

ディスクのチャプターやトラックを、飛び越したり出だしに戻ったりすることができます。

スキップ(◀◀/▶▶)ボタンを押す。

▶▶ボタンを押す

押すごとに、次のチャプターまたはトラックに飛び越して再生を始めます。



◀◀ボタンを押す

1回押すと、再生中のチャプターまたはトラックの出だしに戻ります。
その後は押すごとに、前のチャプターまたは前のトラックの出だしに戻って再生を始めます。



27秒送り(CMスキップ)

約27秒先に飛び越すことができます。

27秒送りボタンを押す。

押すごとに、約27秒先に飛び越します。



- ◆ CMが1分間以上続くときは複数回押します。

レジューム機能

再生中に主電源スイッチをオフにしたり、スタンバイボタンを押した後、もう一度電源をオンにすると続きから再生することができます。

1. ディスクの再生中に主電源スイッチをオフにする/スタンバイ(⏻)ボタンを押す。
2. もう一度電源オンにすると、中断した位置から再生が始まります。

- ◆ 再生開始位置は若干ずれることがあります。
- ◆ 再生位置の情報はDVD、CD、MP3ファイル(データディスクまたはメモリーカード、USBメモリー)でそれぞれ1箇所を記憶できます。
- ◆ 停止(■)ボタンを2回押してディスクを完全に停止すると再生位置の記憶が解除されます。

リピート再生(繰り返し)

ディスク全体やタイトル、トラックなどを繰り返し再生することができます。

リピートボタンを押す。

押すごとに、リピートモードが切り換わります。

DVD 再生時



- ➡ ① チャプター
- ➡ ② タイトル
- ➡ ③ ディスク
- ➡ ④ 通常再生

CD 再生時



- ➡ ① トラック
- ➡ ② ディスク
- ➡ ③ 通常再生

- ◆ リピートボタンを繰り返し押して表示をオフにすると、再生中のチャプターまたはトラックから通常再生に戻ります。

シャッフル再生

DVDのチャプターまたはCDのトラックをシャッフル再生できます。

シャッフルボタンを押す。

押すごとに、通常再生とシャッフル再生が切り換わります。



- ➡ ① シャッフル
- ➡ ② 通常再生

- ◆ 順不同に1回ずつ再生してから停止します。

AB リピート再生

再生中に自分で指定した区間を繰り返し再生することができます。

1. リピートを開始させる場所でA-Bボタンを押す。



2. リピートを終了させる場所で、もう一度A-Bボタンを押す。



- ◆ 指定した区間を繰り返し再生します。
- ◆ A-Bボタンを繰り返し押して表示をオフにすると、再生中の位置から通常再生に戻ります。

再生情報を表示する

チャプターやトラックの経過時間や残り時間など、再生中の映像や音楽の情報を確認することができます。

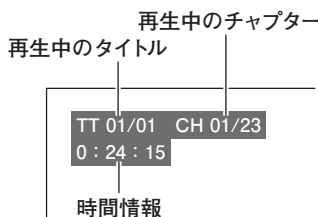
画面表示ボタンを押す。

押すごとに表示内容が切り換わります。

DVD再生時



- ① タイトル経過時間
- ② タイトル残り時間
- ③ チャプター経過時間
- ④ チャプター残り時間
- ⑤ 表示オフ

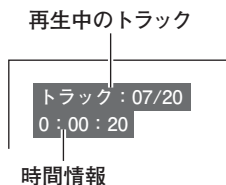


- ◆ 画面表示ボタンを繰り返し押して表示オフにすると表示が消えます。

CD再生時



- ① トラック経過時間
- ② トラック残り時間
- ③ ディスク経過時間
- ④ ディスク残り時間



消音(ミュート)にする

音声を一時的に消すことができます。

消音ボタンを押す。



- ◆ 消音ボタンをもう一度押すと、元の音量に戻ります。
- ◆ スタンバイまたは主電源オフにすると解除されます。

スタンバイにする

本機を待機状態にすることができます。

スタンバイ (⏻) ボタンを押す。



- ◆ スタンバイ状態でもう一度スタンバイ (⏻) ボタンを押すと、電源がオンになります。
- ◆ 電源オフと同じ状態ですが、待機電力を消費します。数時間以上ご使用にならないときは主電源をオフすることをおすすめします。満充電からスタンバイ状態で約1日放置すると、バッテリー残量がゼロになります。

MP3/JPEG ファイルを再生する

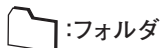
本機では、高音質なままファイルサイズを小さくできる MP3 ファイルや、デジタルカメラなどで広く使われている JPEG 画像を再生することができます。

- ・再生するファイルには拡張子が「.mp3」(MP3 ファイル)、「.jpg」(JPEG ファイル)以外のデータを混ぜないでください。
- ・異なったファイル形式に上記の拡張子を付けることは避けてください。
大きな雑音が発生する恐れがあります。

ファイル：音楽CDのトラック(曲)に相当します。

フォルダ：ファイルを収納しているフォルダです。

ファイルやフォルダは階層構造になっています。



:フォルダ



:MP3ファイル



:JPEGファイル

準備

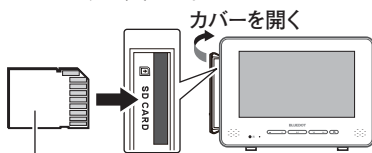
メディアをセットする

◆ ディスクを再生するとき

電源をオンにし、ディスクをセットする。
(16 ページ参照)

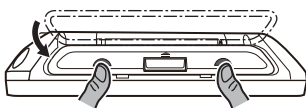
◆ メモリーカードを再生するとき

- ① 右側面の端子カバーのレバーを引き、カバーを開けて主電源をオフにする。
- ② 左側面の端子カバーのレバーを引き、カバーを開く。
- ③ SDHC/SDメモリーカードをカードスロットに入れる。



SDHC/SD メモリーカード

- ④ 主電源をオンにする。
- ⑤ 両側面の端子カバーのマーク(2ヶ所)に指の腹を同時に押し当ててカチッと音がするまで押し込む。



端子カバーがしっかり閉じられていない状態で本機を浴室や洗面所、キッチンなどの水まわりや湿気の多い場所で使用すると、故障の原因となります。

◆ USB メモリーを再生するとき

- ① 右側面の端子カバーのレバーを引き、カバーを開けて主電源をオフにする。
- ② USB 端子にUSBメモリーを差し込む。
- ③ 主電源をオンにする。



USBメモリーを使用すると、端子カバーは閉まらなくなります。浴室や洗面所、キッチンなどの水まわりや湿気の多い場所で決して使用しないでください。

再生するメディアを選択する

リモコンのDVD/メモリーボタンを押し、DVDとメモリーカード/USBメモリーを切り換える。



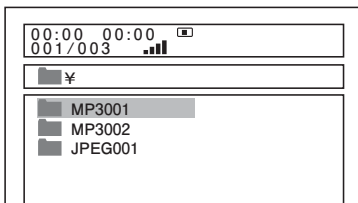
※ ディスクが入っていない状態でメモリーカードやUSBメモリーを差し込むと自動的にこれらのメディアを読み込みます。

※ 記録された環境や記録状態、メディアの製造メーカーなどによっては、本機で再生できない場合があります。

メニュー画面から選んで再生する

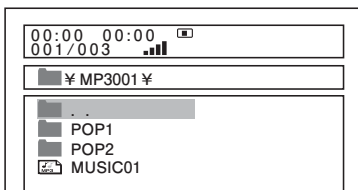
1. メディアを選択する。

メディアの情報を読み込んでメニュー画面が表示されます。



2. 下方向(▼)ボタンを押して開きたいフォルダを選び、決定ボタンを押す。

フォルダの中身が表示されます。
目的のファイルが表示されるまで、フォルダの選択を繰り返します。
一番上にある「..」フォルダを選択すると、1つ上のフォルダへ移動します。



3. 再生するファイルを選び、決定ボタンを押す。

再生が始まります。



- ◆ 画像を表示するときは、ファイルサイズによっては表示に時間がかかることがあります。

いろいろな再生

スキップ(飛び越し)

再生中にスキップ (I◀◀/▶▶I) ボタンを押す。

押すごとに、前後のファイルに飛び越します。

- ◆ 再生中のフォルダを超えてスキップすることはありません。
- ◆ ファイルリピート中は機能しません。

リピート再生(繰り返し)

リピートボタンを押す。

押すごとに、ファイルリピート、フォルダリピート、リピートオフが切り換わります。

ファイルリピート:

ファイルを繰り返します。

フォルダリピート:

フォルダ内の全ファイルを繰り返します。

AB リピート再生

リピートを開始させる場所と終了させる場所で、それぞれ A-B ボタンを押す。

指定した区間を繰り返し再生します。

- ◆ もう一度 A-B ボタンを押すと、再生位置から通常再生に戻ります。
- ◆ JPEG ファイルの再生中は機能しません。

シャッフル再生

シャッフルボタンを押す。

押すごとに、通常再生とシャッフル再生が切り換わります。

- ◆ 順不同に1回ずつ再生してから停止します。

JPEG ファイルのいろいろな再生

JPEG ファイルの再生中に一定の操作をすることで、画像表示に特有の機能を楽しむことができます。ファイルサイズによっては表示に時間がかかることがあります。

画像を回転表示する

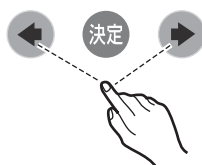
画像を90度ずつ左回りに回転させたり、右回りに回転させることができます。

画像表示中に左方向(◀)または右方向(▶)ボタンを押す。

押すごとに、画像が90度ずつ回転します。

左回りに回転

右回りに回転



画像を反転表示する

画像を上下に反転させたり左右に反転(ミラー)させることができます。

画像表示中に上方向(▲)ボタン、または下方向(▼)ボタンを押す。

押すごとに、反転を繰り返します。

上下に反転

左右に反転



初期設定を変更する

設定内容の説明

本機では、テレビへの出力方法や画質調整、DVD 言語など、様々な設定がされています。これらの初期設定値を、お好みやお使いの接続機器などに合わせて変更することができます。設定内容は次のようになっています。

(で囲まれた項目が工場出荷時に設定されています。)

テレビ表示(ディスクによっては設定が有効にならない場合があります。)

パンスキャン/PS:

画面の縦横比が4:3の従来型テレビに本機を接続するときに選択します。
ワイドスクリーン映像を再生した場合は左右がカットされます。



レターボックス/LB:

画面の縦横比が4:3の従来型テレビに本機を接続するときに選択します。
ワイドスクリーン映像を再生した場合は上下に黒い帯が表示されます。



ワイド:

ワイドスクリーンテレビに本機を接続するときに選択します。



OSD (オン・スクリーン・ディスプレイ)言語

英語(Eng)と日本語(Jpn)が選べます。

キャプション

クローズドキャプションのオン(出力する)、オフ(出力しない)を選びます。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーのオンまたはオフを選択します。
スクリーンセーバーをオンにすると約5分間映像が停止するか、操作がなかった場合、スクリーンセーバー画面になります。

注意表示

電源をオンした直後に表示されるディスプレイや端子カバーの開閉方に関する注意表示をオンまたはオフにすることができます。

スピーカー設定

ダウンミックス

Lt/Rt: マルチチャンネルトラックを左右のチャンネルに振り分けます。

ステレオ: マルチチャンネルトラックをステレオに振り分けます。

イコライザ設定

イコライザタイプ

再生しているビデオや音楽のジャンル、音質の好みに合わせて、8種類のパターンからイコライザのタイプを選択することができます。

イコライザのタイプ: **なし(フラット)**、**ロック**、**ポップ**、**ライブ**、**ダンス**、**テクノ**、**クラシック**、**ソフト**

低音強調、重低音強調、高音強調

再生しているビデオや音楽のジャンル、音質の好みに合わせて、低音や高音の強調の**オン**、**オフ**を選択することができます。

※ スピーカーまたはヘッドホンの特性により、再生する音声によっては出力される音が歪んだり割れたりする場合があります。その場合は設定を**オフ**にしてご使用ください。

リバーブ設定

リバーブモード

再生しているビデオや音楽のジャンル、音質の好みに合わせて、8種類のパターンから残響音のタイプを選択することができます。

リバーブのタイプ: **オフ**、**コンサート**、**リビングルーム**、**ホール**、**バスルーム**、**洞窟**、**アリーナ**、**教会**

デュアルモノ

ステレオ: ステレオで出力されます。

モノラル(左): 左右のチャンネルに左チャンネルの信号が出力されます。

モノラル(右): 左右のチャンネルに右チャンネルの信号が出力されます。

ミックスモノラル: 各チャンネルをモノラルにミックスします。

ダイナミックレンジ

ドルビーデジタルディスクを再生するとき、最大音量と最小音量の幅を圧縮して、小音量でも音声を聞き取りやすくすることができます。

OFFが圧縮無しで、**FULL**がダイナミックレンジを最大限圧縮します。

明るさ

液晶画面の明るさを－10～＋10の間で設定します。
決定ボタンで選択し、左右方向(◀/▶)ボタンで調節します。
 再び**決定**ボタンを押すと決定し、前のメニューに戻ります。
 ※ 工場出荷時は0に設定されています。

コントラスト

液晶画面のコントラストを－10～＋10の間で設定します。
決定ボタンで選択し、左右方向(◀/▶)ボタンで調節します。
 再び**決定**ボタンを押すと決定し、前のメニューに戻ります。
 ※ 工場出荷時は0に設定されています。

色合い

液晶画面の色合いを－10～＋10の間で設定します。
決定ボタンで選択し、左右方向(◀/▶)ボタンで調節します。
 再び**決定**ボタンを押すと決定し、前のメニューに戻ります。
 ※ 工場出荷時は0に設定されています。

彩度

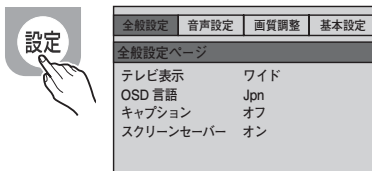
液晶画面の彩度を－10～＋10の間で設定します。
決定ボタンで選択し、左右方向(◀/▶)ボタンで調節します。
 再び**決定**ボタンを押すと決定し、前のメニューに戻ります。
 ※ 工場出荷時は0に設定されています。

※「基本設定」はディスクの完全停止中のみ操作できます。

基本設定	テレビ方式 PAL: ヨーロッパなどで採用されているテレビのタイプです。 マルチ: PALとNTSCのテレビタイプに合わせて、自動的に切り換わるテレビに接続するときに選択します。 NTSC: 日本国内(ほかにアメリカなど)で採用されているテレビのタイプです。
	音声、字幕、ディスクメニュー 音声、字幕、ディスクメニューのそれぞれで、再生時の言語を選択します。 ディスクに記録されている指定言語が、この設定よりも優先されます。 特に指定言語が記録されていないときは、この設定にしたがいます。 設定可能言語: 英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語、韓国語、ロシア語、タイ語 ※ 工場出荷時は音声、ディスクメニューが 日本語 に、字幕は なし に設定されています。
	視聴年齢制限 子どもに見せたくないディスクなどのレベルを規制する機能を設定します。 ディスクによってはこの設定が有効にならない場合があります。 例えば 5. PG-R に設定すると 6. R 以上のレベルは再生できなくなりますが、そもそもディスクに規制レベルが設定されていない場合は、この設定は機能しません。 1. Kid Safe, 2. G, 3. PG, 4. PG-13, 5. PG-R, 6. R, 7. NC-17, 8. アダルト から選択します。
	パスワード変更 パスワードモード オン: パスワードが有効になり、パスワードを入力しないと視聴年齢制限のレベルを変更できないようになります。 オフ: 最初にパスワードを入力して一度設定をオフにすると、パスワードが無効になり、以降自由に視聴年齢制限のレベルを変更できるようになります。 パスワード変更 視聴年齢制限のパスワードを変更をするときに選択します。 (設定方法は28ページ参照。)
	初期設定 リセット 工場出荷時の設定に戻します。

各種設定を行う

1. ディスク再生中、または停止中に設定ボタンを押す。



基本設定はディスクの完全停止中のみ変更できます。

2. 左右方向(◀/▶)ボタンで分類を選び、上下方向(▲/▼)ボタンで項目を選ぶ。

全般設定	音声設定	画質調整	基本設定
全般設定ページ			
テレビ表示	ワイド	パンスカン	
OSD言語	Jpn	レターボックス	
キャプション	オフ	ワイド	
スクリーンセーバー	オン		

3. 右方向(▶)ボタンを押し、上下方向(▲/▼)ボタンで設定内容を選択する。

上図の例では「テレビ表示」の「ワイド」を選んでいきます。

4. 決定ボタンを押して決定する。

5. 左方向(◀)ボタンで前のメニューに戻る。

6. 設定ボタンを押す。
設定画面を終了します。

パスワードを変更する

1. ディスクの完全停止中に設定ボタンを押す。
2. 左右方向(◀/▶)ボタンで「基本設定」を選び、下方向(▼)ボタンを押す。

3. 下方向(▼)ボタンで「パスワード変更」を選び右方向(▶)ボタンを押す。

全般設定	音声設定	画質調整	基本設定
パスワード設定ページ			
パスワードモード	オン	オン	
パスワード変更		オフ	

4. 下方向(▼)ボタンで再び「パスワード変更」を選び、決定ボタンを2回押す。

旧パスワード	
新パスワード	
パスワードの確認	
[OK]	

5. 数字ボタンで旧パスワードを入力する。

パスワードは4桁です。工場出荷状態では「9999」に設定されています。

旧パスワード	XXXX
新パスワード	
パスワードの確認	
[OK]	

6. 新パスワードを入力する。

7. 新パスワードをもう一度入力し、決定ボタンを押す。

パスワードが変更されます。

8. 設定ボタンを押す。
設定画面を終了します。

液晶画面を調節する

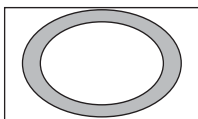
液晶画面の表示モードを変更することができます。画面の明るさ、コントラスト、色合い、彩度は設定メニュー（26ページ）で変更できます。

画面サイズを切り換える

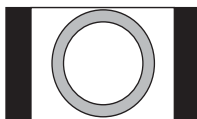
再生中または停止中に、リモコンの画面サイズボタンを押す。

押すごとに、次のように切り換わります。

①全画面(16:9)モード



②標準(4:3)モード



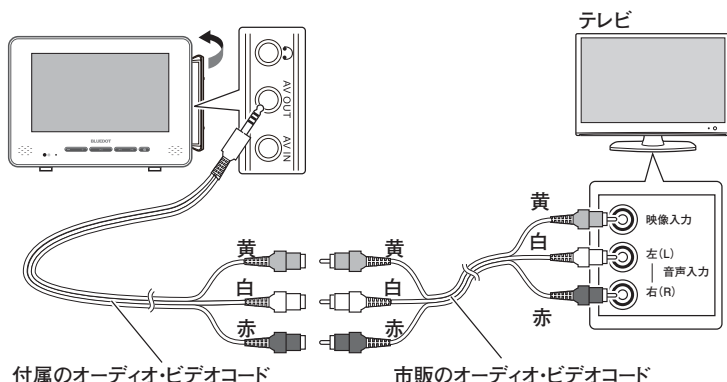
外部機器と接続するとき

⚠ AC アダプターは全ての接続が終了してから最後に接続してください。



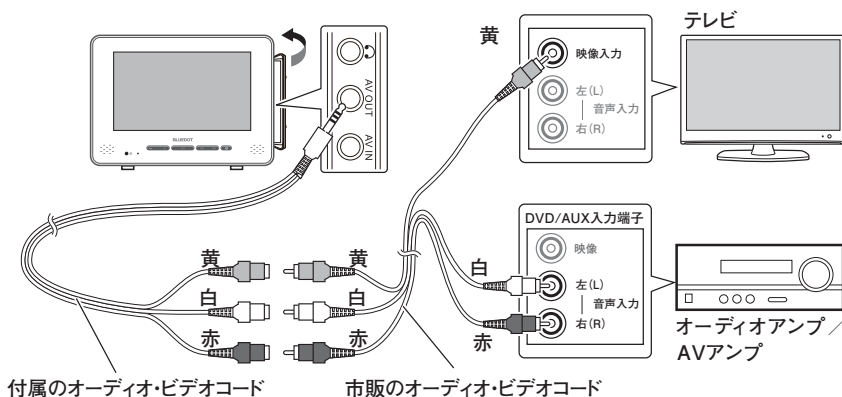
外部機器を接続すると右側面の端子カバーは閉まらなくなります。浴室、洗面所、キッチンなどの水まわりや湿気の多い場所では決して使用しないでください。

テレビに接続する



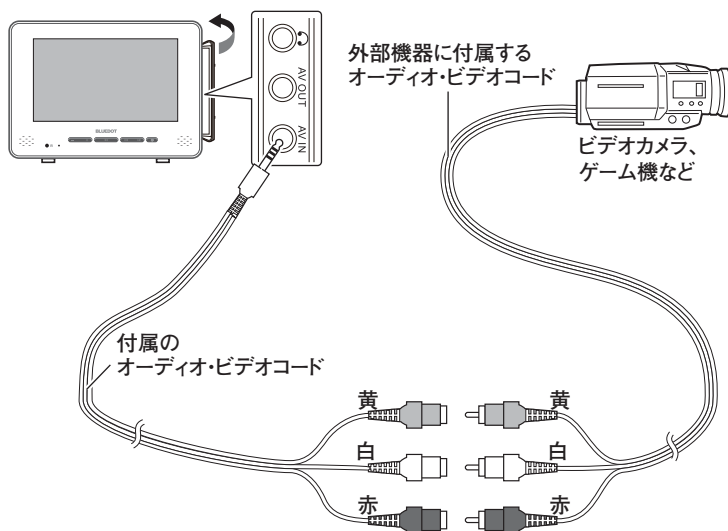
- ◆ オーディオ・ビデオコードを接続するときに雑音が出ることがありますので、テレビの音量(ボリューム)を最小にしてください。
- ◆ 付属のオーディオ・ビデオコードのミニプラグを本機のAV OUT 端子に接続します。赤白黄のピンジャックをそれぞれ対応するテレビの入力端子に、市販のオーディオ・ビデオコードを介して接続します。
- ◆ テレビと接続したときは、本機の液晶画面とテレビの両方で映像をお楽しみいただけます。

テレビとオーディオアンプ、または AV アンプに接続する



- ◆ オーディオ・ビデオコードを接続するときに雑音が出ることがありますので、アンプの音量(ボリューム)を最小にしてください。
- ◆ 付属のオーディオ・ビデオコードのミニプラグを本機のAV OUT 端子に接続します。赤白のピンジャックはアンプの音声入力端子に、黄のピンジャックはテレビの映像入力端子に、市販のオーディオ・ビデオコードを介して接続します。
- ◆ テレビと接続したときは、本機の液晶画面とテレビの両方で映像をお楽しみいただけます。

外部の映像を本機で再生する



- ◆ 付属のオーディオ・ビデオコードのミニプラグを本機の **AV IN** 端子に接続します。
- ◆ 付属のオーディオ・ビデオコードと、外部機器に付属するオーディオ・ビデオコードとを接続します。
- ◆ 外部機器によっては、接続方法が上記と異なる場合があります。詳しくは外部機器の取扱説明書を参照してください。

AV 入力モードに切り換える

外部機器を再生するときは、入力切換ボタンで AV 入力モードに切り換えてください。
ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

- ➡ ① **AV 入力**：AV IN 端子に接続した外部機器の映像を本機でご覧になるとき。
- ② **DVD**：本機の液晶画面でご覧になるとき。
また、AV OUT 端子に接続したテレビなどでご覧になるとき。

- ◆ 本機の電源をオンにした直後は、②の状態になっています。
- ◆ ボタン操作のとき、信号切換のためにしばらくの間、画面が黒または青になることがありますが、故障ではありません。
- ◆ 映像信号が入力されていない場合、画面は青になります。

故障かな？と思ったら

故障と思われる症状が出た場合、もう一度下の表にしたがって確認してください。

症 状	対 応
電源がオンにならない。	・ 本機と AC アダプターとの接続が確実か、ご確認ください。 ・ 内蔵バッテリーは、あらかじめ充電してからご使用ください。 ・ 高温 / 低温下では使用できない場合があります。 ・ 本機の主電源がオフになっていないか、ご確認ください。 ・ 本機がスタンバイ状態になっていないか、ご確認ください。
ディスクが再生できない。	・ ディスクをクリーニングしてから再度お試しください。 ・ 本機で再生できる規格のディスクか、ご確認ください。 ・ テレビ番組を録画したDVDは、ファイナライズ処理を施してください。 ・ ディスクトレイ内でディスクがしっかりと固定されているか、ご確認ください。 ・ ディスクはラベル面を上にして固定してください。 ・ 本機内に結露が無いが、ご確認ください。ディスクを取り出し、主電源をオフにし、乾燥した場所で結露がなくなるまで放置してください。
テレビに映像が出ない。	・ テレビとの接続が確実か、ご確認ください。 ・ 付属の本機専用オーディオ・ビデオコードをご使用ください。 ・ 別の端子にコードを接続していないか、ご確認ください。 ・ 外部入力モードへの切り換えなど、テレビ側の操作が適正か、ご確認ください。 ・ 本機の「テレビ方式(NTSC/PAL)」の設定が適切か、ご確認ください。 ・ ビデオデッキやDVDレコーダーなどを経由している場合は、直接テレビに接続してください。
音が出ない。 音が小さい。	・ 本機の音量(ボリューム)が最小になっていないか、ご確認ください。 ・ ヘッドホンが差し込まれたままになっていないか、ご確認ください。 ・ テレビやアンプとの接続が確実か、ご確認ください。 ・ テレビやアンプの音量操作が適正か、ご確認ください。 ・ DTS形式の音声には対応していません。 ・ スピーカーに水滴が付着すると音が小さくなったり、音がこもったりする場合があります。乾いたやわらかい布で水分を丁寧にふき取ってください。
音質が悪い。	・ 収録されている音声の音質に問題はないかまたは録音レベルが高すぎないか、ご確認ください。 ・ テレビやアンプとの接続が確実か、ご確認ください。 ・ 本機に携帯電話を近づけて使用すると、雑音が入ることがあります。 ・ イコライザや低音 / 高音強調、リバーブをオンに設定した場合、スピーカーやヘッドホンの特性および再生する音声の特性の組み合わせによっては出力される音が歪んだり割れたりすることがあります。その場合は設定をオフにしてご使用ください。

リモコンが効かない。	・ 工場出荷時は、電池が放電しないように保護シートが挟まれています。裏蓋を開けて、この保護シートを丁寧に取り除いてから使用してください。 ・ 本機の主電源がオフになっていないか、ご確認ください。 ・ リモコンを本機の受光部に向けて操作してください。 ・ リモコンと本機の間にある障害物を取り除いてください。 ・ 電池を新しいものと交換してください。
バッテリーを充電できない。 動作時間が短い。	・ 本機の許容動作温度範囲外の高温 / 低温下では正常に充電、放電できない場合があります。 ・ 液晶画面右下のスタンバイボタンでスタンバイ状態にして放置すると、バッテリーを消費し、バッテリー残量が少なくなったり、ゼロになったりします。数時間以上ご使用にならないときは、主電源をオフにしてください。 ・ 長時間ご使用にならなかった場合、しばらくの間、動作時間が短くなる場合があります。充放電を繰り返すと回復します。 ・ バッテリーの寿命の可能性があります。弊社サポートセンターにご相談ください。お客様ご自身でのバッテリー交換はできませんのでご了承ください。

技術仕様

型名	ポータブルDVDプレーヤー BDP-W900	
画面画素数	800（水平）×480（垂直）×3（RGB）	
レーザー	波長 655 nm	
テレビ方式	NTSC/PAL	
周波数応答	20 Hz～20 kHz ±1 dB	
SN比	95 dB 以上	
オーディオ歪み+ノイズ	－80 dB（1 kHz）以下	
チャンネルセパレーション	65 dB 以上	
ダイナミックレンジ	85 dB 以上	
出力	オーディオ出力	出力レベル:2 V±10% 負荷インピーダンス:10 kΩ
	ビデオ出力	出力レベル:1 Vp-p±20% 負荷インピーダンス:75 Ω、不平衡、負極性
電源	DC 12 V 1.2 A	
許容動作温度	5～35℃	
消費電力	20 W 以下	
寸法	267×187×40 mm（突起部除く）	
重量	約 1.1 kg（内蔵バッテリーを含む）	

内蔵バッテリーの使用時間の目安。

DVD 再生時	約 3 時間
---------	--------

※ 液晶パネルは高い精度の技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素が生じる場合があります。必ずしも故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

※ 上記仕様は参考値です。また、仕様は改善のため予告なく変更する場合があります。

著作権について

- ◆ 著作物を無断で複製、放送、有線放送、上映、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)などを行なうことは、法律により禁止されています。
- ◆ 本機は、米国の特許およびその他の知的財産権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはロヴィ社の許可が必要であり、同社の許可がない限りは、一般家庭および特定の視聴用に制限されています。
また、解析(リバースエンジニアリング)や改造は禁止されています。
- ◆ 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- ◆ Dolby、ドルビー、およびダブルD記号「DD」は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- ◆ DVD ロゴは、DVD フォーマットロゴライセンシングの商標です。



バッテリーのリサイクルについて

本機に内蔵されている充電電池はリサイクルすることができます。

取り外しのための分解はお客様自身で行わずに、弊社サポートセンターまでご相談ください。

困ったときは・・・

- p.32～p.33の「故障かな?と思ったら」をご確認ください。
- 弊社ホームページの『FAQ(よくあるご質問と答え)』をご確認ください。
<http://www.bluedot.co.jp/support/>
- お客様サポートセンターにご連絡ください。

BLUEDOTお客様サポートセンター

TEL:0570-010080(ナビダイヤル)

※ナビダイヤルをご利用になれない場合は043-295-8882まで

※ご利用時間は10:00～17:00(土、日、祝日、会社指定休日を除く)

FAX:043-295-8852

E-mail: support@bluedot.co.jp

BLUEDOT[®] 株式会社

〒267-0056 千葉県千葉市緑区大野台2-3-1

E-mail : info@bluedot.co.jp

ホームページ : <http://www.bluedot.co.jp/>